

第 1 回 代議員会



令和 7 年 6 月 1 3 日（金）

1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0

可児市立蘇南中学校より WEB 配信

【本日の日程】

○受 付 1 2 : 3 0 ~

○代議員会 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0

1 開会の言葉および指導者の紹介

副部会長 大坪

2 部会長の言葉

部会長 太田

3 議事

（1）令和 5 年度 会務報告

会務報告

吉岡

会計報告

澤田

（2）令和 6 年度 事業計画

事業計画

竹田

予算案

澤田

機関誌委員会

山内

研究部委員会

佐藤

問題集委員会

片山

ICT 委員会

水野

〈休憩〉

5 岐阜県教育委員会からの指導

義務教育課 課長補佐 石原 由香 様

6 お礼の言葉と閉会の言葉

副部会長 藤井

7 連絡

主務 竹田

○地区連絡会 1 5 : 3 0 ~

（1）令和 7 年度地区理事の確認

（2）東海数研の提案、司会の順序の確認

令和6年度 会務報告

長森南中学校 吉岡 靖大（書記）

□東海地方数学教育会 三県連絡協議会

実施日	場所	主な内容
6月 7日(金)	Online	・令和6年度東海地方数学教育会第71回（愛知）大会について
1月31日(金)	Online	・令和6年度東海地方数学教育会第71回（愛知）大会報告 ・令和7年度東海地方数学教育会第72回（岐阜）大会について

□岐阜県数学教育協議会

実施日	場所	主な内容
5月18日(土)	Online	・令和6年度の活動計画について ・令和6年度東海地方数学教育第71回（愛知）大会について ・令和6年度岐阜県算数・数学研究大会について
6月 7日(金)	岐阜大学附属 小中学校	・令和6年度東海地方数学教育会第71回（愛知）大会について
12月 7日(土)	Online	・令和6年度東海地方数学教育会第71回（愛知）大会報告 ・令和6年度岐阜県算数・数学研究大会報告 ・令和7年度東海地方数学教育会第72回（岐阜）大会について
1月31日(金)	岐阜大学附属 小中学校	・令和7年度東海地方数学教育会第72回（岐阜）大会について

□常任理事会

実施日	場所	主な内容
5月20日(月)	高富中学校	・年間計画について ・第1回代議員会について
6月18日(火)	高富中学校	・夏季実践交流会について
12月18日(水)	高富中学校	・第2回代議員会について ・来年度の方針について

□機関誌委員会

実施日	場所	主な内容
7月11日(木)	蘇南中学校	・今年度の活動計画について ・編集内容の検討 ・個人執筆者との懇談会
8月20日(火)	わかくさ・プラザ	・数学トピックの検討 ・原稿の進捗状況確認
11月 6日(水)	蘇南中学校	・数学トピックの原稿校正 ・全国大会、東海地方数学教育会の校正作業 ・原稿の校正
12月20日(金)	蘇南中学校	・数学トピックの原稿校正 ・原稿の確認作業
1月11日(金)	蘇南中学校	・原稿の最終確認作業

□研究部委員会

実施日	場所	主な内容
6月21日(金)	陽南中学校	・今年度の活動計画について ・単元指導計画の検討
8月20日(火)	わかくき・プラザ	・実践交流 ・各グループの研究内容の交流
10月25日(金)	Online	・実践交流と今後の方向性について ・単元指導計画の検討
11月29日(金)	陽南中学校	・授業実践の交流 ・単元指導計画の検討
12月13日(金)	陽南中学校	・授業実践交流のまとめ ・単元指導計画の検討
2月 7日(金)	陽南中学校	・第2回代議員会の授業検討 ・単元指導計画の完成

□問題集委員会

実施日	場所	主な内容
5月28日(火)	Online	・今年度の活動計画について ・各グループによる令和7年度前期版の原稿の改善作業
6月22日(土)	藍川東中学校	・令和7年度版 前期ワーク校閲 ・令和7年度の数学のワークの発行に向けて
8月20日(火)	わかくき・プラザ	・令和7年度版 前期ワーク校閲 ・令和7年度版 後期ワーク編集作業
11月16日(土)	陽南中学校	・令和7年度版 前期ワーク校閲 ・令和7年度版 後期ワーク修正箇所の確認
2月22日(土)	藍川東中学校	・令和7年度版 後期ワーク校閲 ・来年度に向けて

□ICT委員会

実施日	場所	主な内容
7月10日(水)	Online	・今年度の活動計画について ・東海地方数学教育会に向けて
8月20日(火)	わかくき・プラザ	・教材研究 ・実践レポートの交流
10月31日(土)	恵那東中学校	・東海地方数学教育会に向けて ・生成AIの活用について
2月 6日(木)	恵那東中学校	・今年度の活動の振り返り ・来年度に向けて

□代議員会（理事会，地区連絡会，授業参観及び意見交流会を含む）

実施日	場所	主な内容
6月18日(火)	高富中学校 Online	・令和5年度会務報告 ・令和5年度会計報告，会計監査 ・令和6年度事業計画 ・令和6年度予算案 ・令和6年度各委員会活動計画 ・岐阜県教育委員会からの指導 【指導者】 義務教育課 課長補佐 山路 健祐 様 ・地区連絡会
2月27日(木)	陽南中学校	・授業参観（授業公開 藤井 隆史 教諭） ・授業研究会 ・部会長挨拶 ・令和6年度会務，会計中間報告 ・令和6年度各専門委員会活動報告 ・令和7年度の部会長，副部会長の選出 ・令和7年度事業計画 ・岐阜県教育委員会からの指導 【指導者】 義務教育課 課長補佐 山路 健祐 様 ・地区連絡会

□夏季実践交流会

実施日	場所	主な内容
8月20日(火)	わかくさ・プラザ	・全体会 - 全国大会の報告 - 記念講演 明星学苑明星小学校長 細水 保宏 様 ・分科会

□東海地方数学教育会第71回研究（愛知）大会

実施日	場所	主な内容
11月15日(金)	あま市立 甚目寺中学校	・全体会 - 講演 文教大学教育学部 教授 永田 潤一郎 様 ・分科会

□第106回全国算数・数学教育研究（大阪）大会

実施日	場所	主な内容
7月30日(火)	たかつガーデン	7月30日，31日
～8月2日(金)	大阪府立国際会議場	・講習会
	大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校等	8月1日 ・開会式，記念講演 ・部会シンポジウム ・部会講演 8月2日 ・分科会

令和7年度 中数研 第1回代議員会 資料

会計

令和6年度 決算報告 岐阜県小中学校教育研究会中学校数学科研究部会

【令和6年度 中数部会 会計報告】

◆収入の部		◆支出の部	
繰越金	¥391	旅費	¥48,800
会費	¥316,200	印刷製本費	¥267,300
補助金	¥0	消耗品費	¥0
預金利息	¥103		
合計	¥316,694	合計	¥316,100
		◆繰越金	¥ 594

令和7年度 予算案 岐阜県小中学校教育研究会中学校数学科研究部会

【令和7年度 中数部会 予算案】

◆収入の部		◆支出の部	
繰越金	¥ 594	旅費	¥48,800
会費	¥316,200	印刷製本費	¥268,200
補助金	¥0	消耗品費	¥0
雑収入	¥206		
合計	¥317,000	合計	¥317,000

令和7年度 事業計画

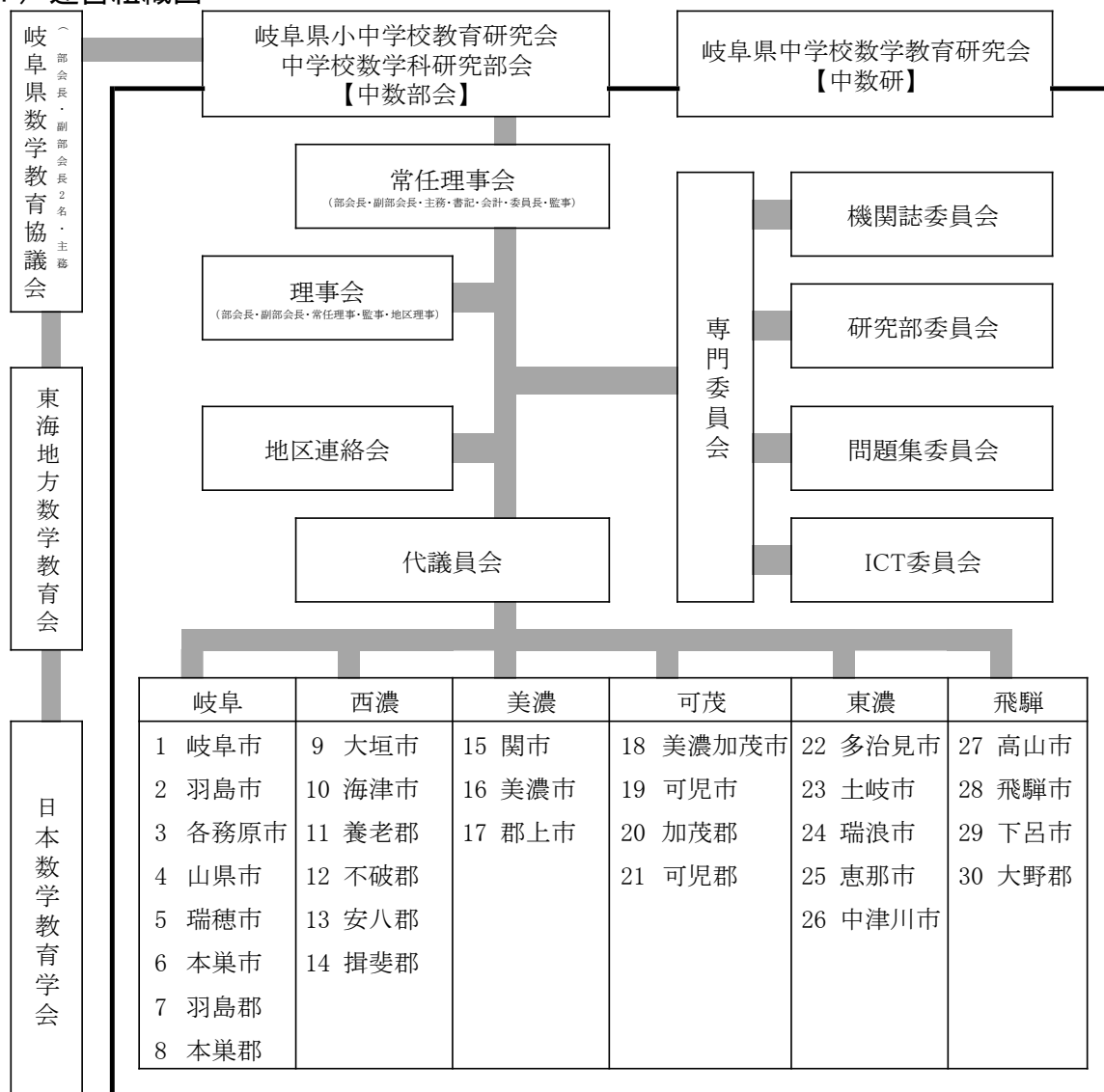


数学教育 | 32号の追加資料

主務者 竹田 浩大

1 運営組織

(1) 運営組織図



(2) 各運営組織の役割

○常任理事会（会則 第13条）

*執行機関

○理事会（会則 第14条）

*必要に応じて実施

地区理事（会則 第8条 第9条の4）

*代議員による互選

○地区連絡会（会則 第6条 第9条の4）

*地区の研究推進

○代議員会（会則 第12条）

*決定機関

○各郡市教研

各郡市の会員によって構成し、岐阜県小中学校教育研究会中学校数学科研究部会（中数部会）の「令和7年度 中数部会テーマ」を踏まえて研究テーマを設定し、今日的課題、及び地域の実態に応じた研究を行う。

2 各組織名簿

(1) 常任理事 14名

役職名	氏名	職名	地区	郡市	勤務校
部会長	太田 紀宏	校長	岐阜	加茂郡	白川中
副部会長（機）	赤尾 正道	校長	美濃	郡上市	明宝中
副部会長（問）	大坪 光	校長	西濃	海津市	日新中
副部会長（ICT）	藤井 英隆	校長	岐阜	岐阜市	附属小中
副部会長（研）	村松まゆみ	教頭	岐阜	岐阜市	陽南中
主 務	竹田 浩大	教諭	可茂	可児市	蘇南中
書 記	吉岡 靖大	教諭	岐阜	岐阜市	長森南中
会 計	澤田 諒	教諭	岐阜	岐阜市	岐北中
機関誌委員長	山内 幸太	教諭	可茂	可児市	蘇南中
研究部委員長	佐藤 秀明	教諭	岐阜	山県市	高富中
問題集委員長	片山 大樹	教諭	西濃	大垣市	西中
ICT 委員長	水野 雄介	教諭	東濃	恵那市	恵那東中
監 事	林 賢治	教諭	岐阜	岐阜市	青山中
監 事	藤井 隆史	教諭	岐阜	岐阜市	陽南中

(2) 岐阜県小中学校教育研究会 代表（県教研）

太田 紀宏 校長 大坪 光 校長

(3) 岐阜県数学教育協議会 幹事会（岐数教）

太田 紀宏 校長 赤尾 正道 校長
藤井 英隆 校長 竹田 浩大

(4) 代議員（□令和7年度地区理事、■R8予定）

※地区理事は第1回代議員会の地区連絡会で互選

地区	番号	理事	郡市	氏名	勤務校	備考
岐 阜	1	□	岐阜市	村橋 貴之	加納中	研究部
	2	■	羽島市	大森 郁弥	中央中	
	3		各務原市	田中 仁幸	稲羽中	
	4		山県市	藤吉 愛子	高富中	
	5		瑞穂市	松本 啓資	穂積中	
	6	□	本巣市	竹中 勇斗	根尾学園	
	7	■	羽島郡	長島 佑汰	岐南中	
	8		本巣郡	尾関 真緒	北学園	
西 濃	9		大垣市	山内 隆司	上石津学園	
	10	□	海津市	富岡 誠聖	日新中	
	11	■	養老郡	菱田 諭	東部中	
	12		不破郡	小林 寛茂	関ヶ原中	ICT
	13		安八郡	大倉 拓真	神戸中	
	14		揖斐郡	安田 一平	揖斐川中	
美 濃	15	□	関市	岩井 一成	板取川中	
	16	■	美濃市	古田 昌寛	美濃中	
	17		郡上市	石田 龍雅	郡南中	

可 茂	1 8		美濃加茂市	森川 克哉	東中	
	1 9	□	可児市	井口 大輝	西可児中	
	2 0	■	加茂郡	大室 祐貴	白川中	
	2 1		可児郡	松原 蒼真	共和中	
東 濃	2 2		多治見市	後藤 英里	多治見中	
	2 3		土岐市	水野 祐介	泉中	
	2 4		瑞浪市	近藤 亮太	瑞浪中	
	2 5	□	恵那市	中島 涼	恵那西中	
	2 6	■	中津川市	田口 有加	蛭川中	
飛 騨	2 7	□	高山市	打保 実	中山中	
	2 8	■	飛騨市	布俣 知哉	神岡中	
	2 9		下呂市	松田 鉄平	竹原中	
	3 0		大野郡	(今井 康之)	白川郷学園	

・本巣郡、大野郡は1校なので、代議員会への出席が学校への負担にならないようにする。
(岐阜市は本巣郡、高山市は大野郡と連携を図る。)

(5) 地区連絡会担当者

地区	担当者			地区	担当者
岐阜	吉岡 靖大、澤田 諒	佐藤 秀明		西濃	片山 大樹
美濃	林 賢治			可茂	山内 幸太
東濃	水野 雄介			飛騨	藤井 隆史

(6) 各専門委員会

機関誌委員会

顧問：赤尾 正道 校長（明宝中） 委員長：山内 幸太（蘇南中）

委員6名、講師1名、会場：蘇南中

氏名	地区	勤務校	氏名	地区	勤務校
清水洋一郎	岐阜	東長良中	長瀬 陽哉	可茂	中部中
原 幸三郎	東濃	瑞浪北中	田口 詠一	飛騨	日枝中
細井 一平	西濃	登龍中	平井 崇祥	美濃	旭ヶ丘中

(講師 安藤 忠展 津保川中 教諭)

研究部委員会

顧問：村松 まゆみ 教頭（陽南中） 委員長：佐藤 秀明（高富中）

委員11名、会場：陽南中

氏名	地区	勤務校	氏名	地区	勤務校
大原 拓弥	岐阜	青山中	石神 聡也	飛騨	下呂中
堀本 泰寛	岐阜	美山中	渡辺脩哉 ^{ラファエル}	岐阜	東長良中
藤原 泰輔	可茂	八百津中	山本 康太	岐阜	高富中
中川 涼太	岐阜	厚見中	大澤 浩未	可茂	中部中
平尾 龍平	岐阜	附属小中	村橋 貴之	岐阜	加納中
堀江 尚暢	岐阜	陽南中			

問題集委員会

顧問：大坪 光 校長（日新中） 委員長：片山 大樹（大垣西中）

委員 9 名、会場：陽南中

氏名	地区	勤務校	氏名	地区	勤務校
嶋田 雅也	岐阜	東長良中	田端 悠希	岐阜	穂積中
中山 雄一郎	岐阜	長良中	菱田 浩見	西濃	平田中
平塚 光	飛騨	丹生川中	西田 耕史朗	岐阜	蘇原中
成瀬 公志郎	岐阜	陽南中	南 総一郎	岐阜	中島中
三上 巧	西濃	興文中			

ICT 委員会

顧問：藤井 英隆 校長（附属小中） 委員長：水野 雄介（恵那東中）

委員 8 名、会場：恵那東中

氏名	地区	勤務校	氏名	地区	勤務校
今西 賀寿真	西濃	附属小中	小林 寛茂	西濃	関ヶ原中
桑山 正二郎	岐阜	陽南中	佐竹 遼	岐阜	穂積中
岡安 航太郎	岐阜	長良中	大室 祐貴	可茂	白川中
川野 佑樹	東濃	瑞浪北中	後藤 馨一郎	美濃	昭和中

3 東海地方数学教育研究大会への参加、協力

（１）司会者、提案者の地区の順番について

○司会者（地区順：飛騨→西濃→美濃→可茂→東濃）

	R 2	R 3 愛	R 4 岐	R 5 三	R 6 愛	R 7 岐	R 8 三	R 9 愛	R 10 岐
①	中止	<岐阜>	飛騨	<岐阜>	東濃	<岐阜>	<岐阜>	可茂	<岐阜>
②		東濃	<岐阜>	可茂		飛騨	美濃		東濃
③			西濃			西濃			飛騨
④			美濃						

○提案者（地区順：飛騨→西濃→可茂→東濃→美濃）

	R 2	R 3 愛	R 4 岐	R 5 三	R 6 愛	R 7 岐	R 8 三	R 9 愛	R 10 岐
①	中止	<岐阜>	<岐阜>	<岐阜>	<岐阜>	<岐阜>	<岐阜>	<岐阜>	<岐阜>
②		飛騨	東濃	西濃	美濃	可茂	飛騨	東濃	西濃
③		西濃	美濃	可茂	飛騨	東濃	西濃	美濃	可茂
④		可茂	飛騨	東濃	西濃	美濃	可茂	飛騨	東濃

- ・司会者、提案者共に①②③④の順で 2 地区ごとに<岐阜>が入ることを原則とする。ただし、岐阜地区からの提案が 2 名にならないようにする。

（２）司会者、提案者の郡市の順番について

	地区	郡 市 の 順 番
司 会 者	岐阜	山県市 (H20) → 岐阜市 (H21) → 瑞穂市 (H22) → 本巣郡 (H24) → 岐阜市 (H25) → 羽島市 (H26) → 本巣市 (H29) → 岐阜市 (R1) → 各務原市 (R3) → 山県市 (R4) → 岐阜市 (R5) → 羽島郡 (R7) → 瑞穂市 (R8) → <u>(R10)</u>
	西濃	海津郡 (H13) → 養老郡 (H16) → 大垣市 (H19) → 不破郡 (H23) → 安八郡 (H26) → 揖斐郡 (R1) → 海津市 (R4) → 養老郡 (R7)
	美濃	関市 (H10) → 郡上郡 (H14) → 美濃市・武儀郡 (H17) → 関市 (H20) → 美濃市 (H23) → 郡上市 (H27) → 関市 (R1) → 美濃市 (R4) → 郡上市 (R8)

	可茂	可児郡 (H11) → 加茂郡 (H14) → 美濃加茂市 (H18) → 可児市 (H21) → 可児郡 (H24) → 加茂郡 (H27) → 美濃加茂市 (R1) → 可児市 (R5) → 可児郡 (R9)
	東濃	土岐市 (H9) → 恵那郡 (H12) → 瑞浪市 (H15) → 恵那市 (H18) → 多治見市 (H22) → 中津川市 (H25) → 瑞浪市 (H29) → 土岐市 (R3) → 恵那市 (R6) → 瑞浪市 (R8) → <u>(R10)</u>
	飛騨	高山市 (H9) → 大野郡 (H12) → 下呂市 (H16) → 飛騨市 (H19) → 高山市 (H22) → 下呂市 (H25) → 飛騨市 (H30) → 下呂市 (R4) → 高山市 (R7) → <u>(R10)</u>
提案者	岐阜	山県市 (H21) → 本巣市 (H22) → 羽島郡 (H23) → 岐阜市 (H24) → 羽島市 (H25) → 瑞穂市 (H26) → 岐阜市 (H27) → 各務原市 (H29) → 山県市 (H30) → 本巣市 (R1) → 羽島郡 (R3) → 岐阜市 (R4) → 羽島市 (R5) → 瑞穂市 (R6) → 本巣郡 (R7) → 各務原市 (R8) → 岐阜市 (R9) → <u>(R10)</u>
	西濃	海津市 (H26) → 養老郡 (H29) → 大垣市 (H30) → 不破郡 (R3) → 安八郡 (R5) → 揖斐郡 (R6) → 海津市 (R8) → <u>(R10)</u>
	美濃	郡上市 (H23) → 美濃市 (H25) → 関市 (H27) → 郡上市 (H30) → 美濃市 (R1) → 関市 (R4) → 郡上市 (R6) → 美濃市 (R7) → 関市 (R9)
	可茂	美濃加茂市 (H20) → 可児市 (H22) → 加茂郡 (H25) → 美濃加茂市 (H26) → 可児郡 (H29) → 可児市 (R1) → 加茂郡 (R3) → 美濃加茂市 (R5) → 可児郡 (R7) → 可児市 (R8) → <u>加茂郡 (R10)</u>
	東濃	多治見市 (H25) → 瑞浪市 (H27) → 土岐市 (H29) → 恵那市 (R1) → 中津川市 (R4) → 多治見市 (R5) → 瑞浪市 (R7) → <u>土岐市 (R9) → (R10)</u>
	飛騨	飛騨市 (H27) → 下呂市 (H30) → 高山市・大野郡 (R3) → 飛騨市 (R4) → 下呂市 (R6) → 高山市・大野郡 (R8) → <u>飛騨市 (R9)</u>

- ・①の地区の順番と、②の各地区における郡市の順番を組み合わせて、司会者、提案者の郡市を決定する。
- ・この表に掲載されている郡市の順番については、昨年度の第2回代議員会で確認されている。
- ・東海数研における分科会数等については、東海地方数学教育会三県連絡協議会にて、開催県の意見を尊重しながら決定される。そのため、司会や提案をお願いする年度を変更する場合がある。また、変更があった場合は、事務局より該当する郡市の代議員まで連絡する。

(3) 分科会の司会者、提案者(選出地区)名簿

年度	開催県	司会者				提案者				
		地区	郡市	氏名	学校名	地区	郡市	領域	氏名	学校名
R3	愛知	岐阜 東濃	各務原市 土岐市	川瀬 慎哉 高野 直紀	川島中 西陵中	岐阜 飛騨 西濃 可茂 ICT	羽島郡 高山市・大野郡 不破郡 加茂郡 *	数量(資) 数と式 図形 数量(関) 小中関連	小椋 基生 平塚 光 岩本 陽作 長瀬 陽哉 長嶋 佑汰	岐南中 中山中 不破中 白川中 岐南東小
R4	岐阜	飛騨 岐阜 西濃 美濃	下呂市 山県市 海津市 美濃市	奥田 将也 佐藤 秀明 中島 直哉 二村 治	金山中 高富中 城南中 美濃中	岐阜 東濃 美濃 飛騨 *	岐阜市 中津川市 関市 飛騨市 *	図形 数量(資) 数量(関) 数と式 *	藤井 隆史 佐々木 啓佑 石原 彰哉 今井 隆之 *	陽南中 福岡中 桜ヶ丘中 古川中 *

R5	三重	岐阜 可茂	岐阜市 可児市	大澤 浩未 河合 俊宏	加納中 東可児中	岐阜 西濃 可茂 東濃 研究部	羽島市 安八郡 美濃加茂市 多治見市 *	図形 数量(関) 数と式 数量(資) 小中関連	武山 細井 福地 安藤 中川 貴斗	敦詞 一平 裕 真	竹鼻中 登龍中 美加東中 北陵中 長良東小
R6	愛知	東濃	恵那市	中島 涼	恵那西中	岐阜 美濃 飛驒 西濃 ICT	瑞穂市 郡上市 下呂市 揖斐郡 *	図形 数量(関) 数と式 数量(関) 中高関連	杉田 下村 石神 野原 川野	岳史 晃太 聡也 知美 祐樹	巢南中 八幡中 下呂中 池田中 長良中
R7	岐阜	岐阜 西濃 飛驒	羽島郡 養老郡 高山市	小椋 基生 大久保貴吉 長谷川威郎	笠松中 養老東部中 宮中	岐阜 美濃 可茂 東濃 研究部	本巣郡 美濃市 可児郡 瑞浪市 *	数と式 数量(資) 図形 数量(関) 中高関連	川瀬 直広 神戸 伸吾 領木 亮太 近藤 康太 山本		北学園 美濃中 向陽中 瑞浪中 高富中
R8	三重	岐阜 美濃	瑞穂市 郡上市			岐阜 飛驒 西濃 可茂 ICT	各務原市 高山市・大野郡 海津市 可児市 *	数量(関) 数と式 数量(資) 図形 小中関連			
R9	愛知	可茂	可児郡			岐阜 東濃 美濃 飛驒 研究部	岐阜市 土岐市 関市 飛驒市 *	中高関連			
R10	岐阜	岐阜 東濃 飛驒				岐阜 西濃 可茂 東濃 ICT	加茂郡				

R7 年度 第1回代議員会

- ・R9年度の提案領域を決定する→**岐阜市、土岐市・関市、飛驒市**
(※オンラインでも打ち合わせを行い、決定する)

R7 年度 第2回代議員会

- ・R8年度の司会者、提案者の名前と所属を報告する→**瑞穂市、郡上市、各務原市、高山市・大野郡、海津市、可児市** (11月頃主務が代議員にTEL確認)
- ・R10年度の司会者、提案者の郡市を地区連絡会で確認し決定する

R8 年度 第1回代議員会

- ・R10年度の提案領域を決定する

(4) 分科会提案資料の検討会

- ・東海数研で提案する資料の検討会を、夏季実践交流会の前に行う。
地区理事は、地区担当の常任理事と連絡を取り合い日程や方法などを調整する。

(5) 夏季実践交流会の実施

夏季休業日の期間を利用し、会員相互の実践を交流し、数学教育に対する見識を深めるとともに、岐阜県の中学校数学教育の一層の充実を図る。

なお、以下の点に留意して計画する。

- ・今日的な課題に対する講演会を位置付ける。
- ・東海地方数学教育会研究大会（東海数研）で発表を予定している提案を行う。
- ・分科会の司会は、東海大会の分科会司会が務める。
- ・開催場所については、以下の地区順をもとに、常任理事会で決定していく。
- ・開催地区の代議員と主務が連絡を取り合いながら、準備を進めていく。

R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度	R13 年度
東濃	岐阜	飛驒	可茂	岐阜	西濃	美濃

地区順：美濃、東濃、飛驒、可茂、西濃の順。2地区ごとに＜岐阜＞が入ることを原則とする。

4 第15回中数部会夏季実践交流会（東濃地区大会）への積極的参加

- (1) 主 催：岐阜県小中学校教育研究会中学校数学科研究部会
後 援：岐阜県中学校数学教育研究会
- (2) 目 的：夏季休業日の期間を利用し、会員相互の実践を交流し、数学教育に対する見識を深めるとともに、岐阜県中学校数学教育の一層の充実を図る。
- (3) テーマ：「深い学びを具現する数学教育の創造 ～主体的で対話的な学びを通して～」
- (4) 日 時：令和7年8月18日（月）
12：50～16：30（受付12：30～）
- (5) 場 所：バロー文化ホール
〒507-0039 岐阜県多治見市十九田町2丁目8 TEL 0572-23-2600
- (6) 講 演

<演題未定> 普段の授業で子どもの思考力、判断力、表現力等を育む
文教大学 永田 潤一郎様

(7) 日程及び内容

受付 12:30	○全体会 12:50～14:35			○分科会Ⅰ、Ⅱ 14:45～15:30、15:45～16:30
	全体会 記念講演	休憩・移動	会場Ⅰ	発表 「数と式」 北方町立北学園 川瀬 直広 教諭
			司会	笠松町立笠松中 小椋 基生 教諭
			会場Ⅱ	発表 「図形」 御嵩町立向陽中 領木 匠吾 教諭
			司会	「数量関係（データの活用）」 美濃市立美濃中 神戸 伸晃 教諭 ・ 養老町立養老東部中 大久保 貴吉 教諭 「数量関係（関数）」 瑞浪市立瑞浪中 近藤 亮太 教諭
				高山市立宮中 長谷川 威郎 教諭

○全体会

- ・開 会(1)
- ・部会長挨拶・講師の紹介(5)
- ・多治見市教育長挨拶(5)
- ・記念講演(90)
- ・閉 会(1)

○分科会①

- ・開会の言葉(1)
- ・助言者の紹介(1)
- ・提 案(15)
- ・研究討議(15)
- ・指導助言(10)

○分科会②

- ・提 案(15)
- ・研究討議(15)
- ・指導助言(10)
- ・閉会の言葉(1)

- ・分科会指導者は、岐阜県教育委員会等に依頼する。（各会場1名）
- ・東海地方数学教育会第72回研究（岐阜）大会で発表を予定している提案を行う。
- ・分科会の司会者は、岐阜大会の分科会司会の担当郡市が務める。
- ・会の運営は、常任理事を中心に行うが、必要に応じて地区の代議員などの協力を得る。

- (8) 情報交換会：オースタット国際ホテル多治見（19：00～ 会費6,950円）
〒507-0038 多治見市白山町4-14-1 TEL 050-1807-3065

- (9) 申 込：要項にあるQRコードを読み取り、Googleフォームによるアンケートを通して、**8月1日（金）までに**申し込む。情報交換会への参加を希望する場合は、**7月14日（月）までに**申し込む。

- ・提案郡市の方は、実践交流会当日に発表する際に使用する「発表原稿（論文）」を**7月31日（木）までに**、本部主務者までメールで提出願います。
- ・夏季実践交流会の要項を、7月上旬に各学校へメールでお送りします。
- ・提案郡市の資料は、8月上旬に中数研 HP にアップします。参加者は各自印刷して持参していただきますよう、ご協力をお願いします。

5 全国算数・数学教育研究大会への参加

岐阜大会後も、岐阜県の数学教育の発展と数学部員の研修のために、例年数本の分科会提案を全国大会で行う。

- ・4委員会から2委員会で提案者を選出し、毎年2本ずつ提案する。
- ・代議員会にて、全国大会の分科会提案の希望を積極的に募る。郡市の代表、『自主研究会』（複数の学校の先生が集まって行う研究会）としての発表には、分科会提案の援助、大会参加費や旅費を補助する。

＜中数研からの提案について＞

（附属中学校からの提案は省いてあります。）

年度	提案者		学校	分科会
平成27年度 第97回 (北海道大会)	機関誌	西尾 鹿正	旭ヶ丘中学校	学習指導法
	研究部	江口 友之	青山中学校	関数
	問題集	太塚 英明	鵜沼中学校	評価
	コンピュータ	松本 将史	南ヶ丘中学校	情報機器
	大垣市	山田 康人	興文中学校	図形
平成28年度 第98回 (岐阜大会)	機関誌	竹田 浩大	陽南中学校	学習指導法
	研究部	山本 恵子	那加中学校	教育課程
	問題集	村上 知行	岩野田中学校	学習指導法、評価
	問題集	澤田 諒	陽南中学校	学習指導法、評価
	コンピュータ	松本 啓資	穂積中学校	ICTの活用
全都市提案				
平成29年度 第99回 (和歌山大会)	機関誌	山内 幸太	加納中学校	学習指導法
	コンピュータ	林 賢治	青山中学校	図形
平成30年度 第100回 (東京大会)	研究部	苅谷 康司	加納中学校	評価
	問題集	嶋田 雅也	国府中学校	図形
	可児郡	大城 真一	向陽中学校	資料の活用
	中津川市自主研	伊藤憲一郎	苗木中学校	数学的な見方や考え方
令和元年度 第101回 (沖縄大会)	機関誌	桂川真祈人	竹原中学校	学習指導法
	コンピュータ	小椋 基生	岐南中学校	図形
	岐阜市	松本 将史	陽南中学校	数学的な見方や考え方
令和2年度 第102回 (茨城大会)	研究部	澤田 諒	岐北中学校	→次年度へ延期
	問題集	神戸 伸晃	美濃加茂東中学校	→誌上発表 数と式
	可児市	竹田 浩大	中部中学校	→次年度へ延期
令和3年度 第103回 (埼玉大会)	研究部	澤田 諒	岐北中学校	数学的な見方や考え方
	ICT	長島 佑汰	岐南東小学校	小中関連
	可児市	竹田 浩大	中部中学校	図形
令和4年度 第104回 (島根大会)	問題集	神戸 伸晃	坂祝中学校	→中止
	機関誌	長瀬 陽哉	白川中学校	図形
令和5年度 第105回 (青森大会)	研究部	小谷 公也	高富中学校	ICTの活用
	ICT	水野 雄介	恵那東中学校	ICTの活用
令和6年度 第106回 (大阪大会)	問題集	片山 大樹	大垣西中学校	学習指導法
	機関誌	細井 一平	登龍中学校	学習支援
令和7年度 第107回 (石川大会)	研究部	佐藤 秀明	高富中学校	
	ICT	川野 祐樹	瑞浪北中学校	ICTの活用
令和8年度 第108回 (大会)	問題集			
	機関誌			

令和8年度の全国大会での提案を希望している郡市は、中数研主務まで連絡をください。

※第 107 回全国算数・数学教育研究（石川）大会（一次案内より抜粋）

【1】研究主題 「社会に開かれた算数・数学教育をめざして—未来を切り拓く子どもの育成—」

【2】日 程 令和7年（2025年）

	9:00	9:30	11:20	12:30	14:20	14:40	16:30
講習員会	8月5日（火）	受付	講習会（Ⅰ）	昼食	講習会（Ⅱ）	休憩	講習会（Ⅲ）
	8月6日（水）	受付	講習会（Ⅳ）	昼食	講習会（Ⅴ）	休憩	講習会（Ⅵ）

	9:00	9:30	11:30	12:00	12:30	13:00	14:30	16:30
大会	8月7日（木）	受付	開会式 全体講演	昼食	部会講演			
	8月8日（金）	受付	分科会Ⅰ 高専・大学部会Ⅱ	昼食	分科会Ⅱ 高専・大学部会Ⅲ			閉会式

※シンポジウムについては、現在開催を検討中です。

	9:00	13:00	14:00	14:30	15:30	17:00
会議	8月6日（水）		東海・北陸ブロック連絡会		北陸四県連絡会	
	8月8日（金）		大会事務引継会			

石川大会は、オンラインでの開催になります。

6 常任理事の講師派遣について

中数研の常任理事が、各郡市の教科研究会の助言者という立場で参加することができます。昨年度も郡市の研究会に参加させていただきました。これからも、ともに勉強していきたいと思っておりますので、声をかけてください。

○常任理事派遣の手順

- ① 郡市の代議員は、中数研事務局に、研究会の日時や内容を連絡する。
- ② 事務局は、部会長と相談し、講師の人選を行う。
- ③ 事務局は、郡市の代議員に講師名を連絡する。
- ④ 郡市の代議員は、郡市の規定に則り、講師の派遣申請書を講師の所属長宛に送付する。（講師の交通費は、中数研で支払うことも可能である。）

※令和7年度：加茂郡（6月）

7 自主研究会について

全国算数・数学教育研究大会の分科会提案に向けて、複数の学校の先生方が自主的に集まって行う研究会（自主研究会）を行うことを推進している。

○自主研究会を行うにあたって

次の手順で（年間3回以上）自主研究会を行う場合は、中数研より補助を受けることができる。

- ① 代表者は「自主研究会活動計画書」を事務局に提出する。
 - ② 自主研究会を行う。
 - ③ 代表者は「自主研究会活動報告書」を事務局に提出する。
- （＊自主研究会活動計画書や報告書は「中数研HP」よりダウンロード）

8 実践事例集の配布について

中数研では、実践事例集（ver.2.0）を中数研の会員に配布しています。これは中数研研究部委員会が作成した、中学校全学年・前単元・全単位時間の実践事例集です。今年度も実践事例集をお持ちでない先生を代議員の先生方を通じて調査し、増刷して配布していきます。

※各郡市の新規採用者及び小学校からの異動者で実践事例集をお持ちでない先生を調査し、活動計画と共に本部まで報告してください。



【実践事例集（ver.2.0）の特長】

- ① 「3観点評価」で整理し直した単元指導構想図の作成
 - ・働かせる数学的な見方・考え方は、教科書の扉のページを参考に、授業の中で教師と生徒の共通の言葉を用いることを意図して用いた。
- ② 単元指導計画の作成
 - ・指導と評価の一体化のための学習評価に関する資料を参考に、単元のみとまとりごとの評価の在り方を明記した。
 - ・記録に残す評価と指導に生かす評価を明らかにし、指導に生かすための視点を明記した。
- ③ 指導案の修正
 - ・「ねらい」「単位時間の役割」「学習活動」「評価規準」「板書」を位置付けた。また、中数研の研究テーマ具現のための手立てとしてとして「導入の工夫」及び「深い学びに迫る指導」を位置付けた。

9 中数部会事務局（兼 中数研事務局）連絡先

〒509-0207 可児市今渡112

可児市立蘇南中学校内 竹田 浩大

TEL：(0574) 62-1010

E-Mail：honbu@chusuken.jp



10 提出物等についてお願い

各郡市の代議員へお願い（重要）

○本日の第1回代議員会、地区連絡会の後に以下の3点の提出をお願いします。

※様式については、代議員会資料と共にメールに添付いたしました。中数研 HP にあります。

- ① 令和7年度郡市活動計画
- ② 実践事例集申し込み
- ③ 機関誌発行の「数学教育」発送数調査

※切 7月4日（金）

11 その他

代議員会後の地区連絡会で、地区ごとに以下のことを確認してください。

司会者：地区理事（各務原市・瑞穂市・大垣市・郡上市・美濃加茂市・瑞浪市・下呂市）

- ① 令和7年度の司会者・提案者に間違いがないかを確認する。
→羽島郡、養老郡、高山市、本巣郡、美濃市、可児郡、瑞浪市
- ② 令和8年度の司会者・提案者の郡市に間違いがないかを確認する。
→瑞穂市、郡上市、各務原市、高山市・大野郡、海津市、可児市
- ③ 令和9年度の提案領域の決定の段取りについて確認する。
※郡市活動計画の中に希望領域を記入しそれをもとに決定、第2回代議員会で報告
→岐阜市、土岐市、関市、飛騨市
- ④ 今後の見通しについて確認する。
※第2回代議員会（R8.2月開催予定）で確認・決定すること
・令和8年度の司会者・提案者の名前（所属）
→瑞穂市、郡上市、各務原市、高山市・大野郡、海津市、可児市
（11月頃主務者が代議員にTEL確認）
・令和9年度の司会者・提案者の郡市の確認

機関誌委員会

令和7年度 第1回代議員会資料

1. はじめに

昨年度は、「県内の数学の先生方のニーズに応え、実践で使ってみたい」と手に取ってもらえることを願い、「数学教育132号」を作成・発刊しました。

この作成にあたり、まず行ったことは、日頃から数学科の先生方が、「何を求めているのか」、「どんなことで悩まれているのか」など、ニーズや困り感を明らかにすることでした。そして、そんな声に応えることができるよう、先進的な取組を行っている多くの先生方に原稿の執筆を依頼し、指導内容や指導方法の工夫改善についての研究実践をまとめました。

また、数学トピックのコーナーでは、少しの時間で活用できる数学トピックや、数学的な見方・考え方、教師と生徒との関係づくりなどについて取り上げ、新たにページを更新しました。

さらに、個人執筆者の先生方を第一回の機関誌委員会にお招きし、個別相談会を実施するなどして、未来の数学教育を支える熱心な若い先生方に寄り添いサポートする活動を継続して行いました。

今年度も、機関誌委員会が発行する「数学教育」が、岐阜県の数学教育に携わるすべての方の実践の参考となり、より一層、充実したものになるようにしていきたいと思います。そのためにも、読んで実践してみたいと思っていただける内容を掲載し、実用性あふれる情報を発信していきます。

2. 活動方針と活動内容

(1) 編集にあたって 「数学教育」発行：年1回、発行時期：令和8年2月

機関誌委員会が企画している特集ページの充実を図るとともに、研究部委員会の取組や各委員会の様々な実践例を取り上げ、県内の会員の皆様に中数研の活動を伝えられるようにします。

また、昨年度と同様に、第2回代議員会に間に合うように各学校に機関誌「数学教育」を送りますので、活用をお願いします。なお、第2回代議員会では、機関誌「数学教育」に掲載した資料を使って議事を進めていく予定です。

(2) 活動方針

①中数研の研究部の実践や各地区での優れた実践を発掘・発信し、会員の皆様に活用していただける機関誌「数学教育」を目指す。（委員会の活動と会員との双方向の動きを生み出す）

→昨年度のアンケート結果を活用し、機関誌「数学教育」を読んでいた会員の皆様の意見や感想をもとに編集を行い、機関誌「数学教育」の充実を図る。

→先進的な取組やICTを活用した実践をしている若手教員の人材発掘に力を入れていく。

→個人研究執筆者を実践の段階から手厚くサポートする。

②先進的な取組をしている他県の学校への取材や夏季実践交流会の発表の様子、指導者の先生からの指導助言をまとめ、情報の共有を行う。

→「第107回 全国算数・数学教育研究会（石川）大会」、「東海地方数学教育会第72回（岐阜）大会」での発表資料や、夏季実践交流会の発表の様子、指導者の先生からの指導助言をまとめ、今日的課題を共有し、実践の参考となるようにする。

③機関誌「数学教育」のデジタル化を図る。

④機関誌委員会独自の視点から、数学トピックの充実・特集の充実を図る。

→現代社会の問題を取り上げたトピックやちょっとした空き時間に使えるトピック、日常にある数学についてなどを取り上げ、独自の視点で作成していきます。

（詳しくは132号を見ていただけると嬉しいです。）

（3）編集内容

＜令和7年度号（133号）＞

- ・数学トピック集
- ・個人研究
- ・第107回 全国算数・数学研究会（石川）大会発表資料（全国・東海で発表いただいた先生の講評も同時掲載）
- ・東海地方数学教育会 第72回研究（岐阜）大会発表資料
- ・各委員会の活動報告
- ・令和7年度郡市別研究成果の報告
- ・第1回代議員会報告（検討された内容の抜粋）
- ・第2回代議員会資料 など



【機関誌「数学教育」令和6年度号】

3. 活動計画

回	月	会場	内容
1	7月 1日（火）	蘇南中学校	・本年度の活動方針と活動内容の確認 ・令和7年度号の編集計画
2	8月18日（月）	バロー文化ホール	・令和7年度号の原稿執筆依頼状況の確認
3	11月 5日（水）	蘇南中学校	・令和7年度号の原稿回収及び原稿校正作業
4	12月16日（火）	蘇南中学校	・令和7年度号の原稿回収及び原稿校正作業
5	1月10日（土）	蘇南中学校	・令和7年度号の原稿最終校正作業

可児市立蘇南中学校

山内 幸太

【中数研機関誌委員長】

〒509-0207 可児市今渡112番地

TEL (0574) 62-1010

電子メールアドレス yamauchi-kouta@school.city.kani.gifu.jp

研究部委員会

1. 研究主題について

これまでの研究部委員会では、研究主題『深い学びを具現する数学教育の創造』を掲げて、全単元の3観点評価の在り方を見直し、単元指導計画の加筆修正を行い、それを活用した授業実践を行ってきた。

昨年度の「今後の教育課程、学習指導および学習評価等の在り方に関する有識者検討会」において、学習者が主体的に学ぶ中で自ら学習を調節しつつ資質・能力を身に付けることの重要性と、その中で教師が発揮すべき指導性について述べられた。そこで、本年度は、これまで作成した実践事例集をもとに、主体的な学びを実現する授業改善を行い、実践を行うことで深い学びについて研究を進めていく。また、数学の教科書の変更に伴い、単元指導構想図の見直しを図る。

令和7年度 研究部委員会研究主題

深い学びを具現する数学教育の創造

～「主体的な学び」を実現する授業改善と、実践事例集を活用した授業実践～

2. 研究内容

○活動内容

(1) 「主体的な学び」を実現する授業改善と授業実践

- ・「生徒が自ら学習を調節する」ための手立てと、そのために「教師が発揮する指導」の具体を明確にし、実践事例集をもとに授業を考え、実践を行う。その結果を数学教育にまとめることで、実践事例集の活用法を示していく。

(2) 実践事例集の加筆修正

- ・教科書の見方・考え方のポイントをもとに、実践事例集の全単元構想図の「数学的な見方・考え方」を中心とした見直しを図る。

3. 具体的な方途

それぞれの研究内容について、具体的に以下のように活動を行う。

(1) 「主体的な学び」を実現する授業改善と授業実践について

- ・委員を3つの学年グループに分け、実践する単元を決め、授業の検討を行う。
- ・各校で「主体的な学び」を目指した授業実践を行い、その成果や課題をまとめ、「数学教育」に掲載する。

(2) 実践事例集の加筆修正について

- ・各グループで、教科書をもとに、これまで作成した実践事例集の単元構想図を見直す。
- ・加筆修正した単元構想図をオンライン上の「数学教育実践事例集」に載せる。

4. 今年度の予定

	実施予定月	場所等	主な内容
1	6 月	陽南中	・本年度の研究の方向の確認 ・研究組織の作成 ・各グループの年間計画 実践する単元の決定
2	7 月	陽南中	・各グループ 授業の検討会 ・単元構想図の見直し ・全国大会・東海数研の発表に向けて
3	8月18日(月)	バロー文化ホール	・各グループ 授業の検討会 ・単位構想図の検討 ・全国大会・東海数研の発表に向けて ・夏季実践交流会への参加
4	10 月	陽南中	・各グループ 授業の検討会 ・単元構想図の検討 ・代議員会の授業について①
5	11 月	陽南中	・各グループ 授業実践
6	12 月	陽南中	・各グループ 授業実践
7	1 月	陽南中	・代議員会の授業について（事前研） ・各グループ 単元構想図の完成 ・実践事例集のまとめ、来年度の方向について
8	2 月		・代議員会授業公開

問題集委員会

文責：委員長 片山 大樹（大垣市立西中学校）

1 活動方針

- ・岐阜県内の中学校で勤務する数学科の教員が生徒の実態をつかみながら「数学のワーク」を編集し、多くの生徒が活用できる環境をつくる。
- ・「数学のワーク」の問題と解説・解答集を特色（基本的問題、自学自習用、書き込み形式、章末問題、ドリル、発展問題）に沿って検討を進めながら、より汎用的な内容とする。

2 活動内容

- （1）令和8年度版の問題の検討
 - ・新しい教科書での配列や問題の整合性の確認
 - ・汎用的な問題への検討を行う。
- （2）令和8年度版の解説・解答集の検討

3 活動計画

回	日程、活動場所	活動内容
1	6月 ハイブリッド	◆活動方針の確認、役割分担、宿題持ち帰り
2	8月18日（月） バロー文化ホール	◆令和8年度前期版の編集作業 ◆実践交流 ◆令和8年度後期版の宿題持ち帰り
3	11月 岐阜市立 陽南中学校	◆令和8年度前期版の校閲 ◆令和8年度後期版の編集作業 ◆令和8年度日数教全国大会での提案資料の検討
4	2月 岐阜市立 陽南中学校	◆令和8年度後期版の校閲 ◆令和8年度日数教全国大会での提案資料の検討 ◆来年度活動への参加希望調査

4 その他

- ・勤務されている学校で副教材として何を採用されているのか、「数学のワーク」をどのように改善するとよいのかのアンケートを実施



ICT委員会活動計画

文責：恵那東中学校 水野 雄介

少しずつ当たり前になってきているICTを活用した実践を
さらに蓄積し、より良い情報を発信し続けるICT委員会へ！
一学習の個性化・指導の個別化を目指して一

2020年度から、ICT委員会では、
「配付された生徒一人一人のタブレットを活用してICTをより効果的にするにはどうしたら良いか」
ということを前提として授業実践を行ってきた。地域によって配付されているタブレットが異なり、使用しているアプリも異なる。しかし、タブレットの環境下が異なっていたとしても、



「数学を通してどのような力をつけていきたいのか
(つけていかなければいけないのか)」
「教科書からどのような数学的な見方・考え方を働かせる場面を
どのようにICTを活用すれば創り出していくのか」

という問題が根底にあるからこそ、異なったICT環境の市町の教員が集まってもICT委員会を進めることができたと感じる。学ぼうとする意欲があれば、お互いに様々な情報を吸収し、対話の中から様々なアイデアが生まれ、学びのある場になると気付かされた。今年度も、たくさんの実践とたくさんの発信ができる委員会を目指していきたい。

また、昨年度の東海数学研究会の実践発表から、「生成AIを数学の授業に活用することはできないだろうか？」ということテーマを考えることも行なっている。今年度は、全国大会でこれまで議論してきたことや実践してきたことを発表することになるため、多くの情報を手に入れてきたいと考えている。

今年度は、次のことに取り組んでいきたい。

- ①県内タブレット活用実態調査(東京書籍になって、どのように活用が変化したのか?)
- ②ICT委員による実践レポートの作成&ホームページへのUP
- ③全国大会での発表 生成AIを活用した授業実践の可能性について

<今年度の活動について>

①県内タブレット活用実態調査

新しい東京書籍の教科書の教科書には、ほぼすべてのページで二次元コードがついている。単元の導入の動画や、各問題の類題の出題、模範解答の提示など、自主学習が進められるようになっている。これまで、ICT委員会ではGeoGebraによるシミュレーションソフトの開発を進めてきたが、今後、新しい教科書が採用されたことによって、役割が変化してくと思われる。まだ、数と式領域しか授業が進んでいないため、できることは少ないかもしれないが、実態の変化やニーズの変化を捉えて、ICTを活用して活用の方法を模索していきたい。

<これまでのアンケートから見えてきた実態や声>

- タブレットに関わる環境は改善しつつあるが、市町によって大きな差がある。
例えば、iPadはよく活用できている傾向がある。パソコンに近いタブレットは活用されにくい状況にある。持ち運びや使い勝手の点で活用されるかどうかが決まる。
- タブレットの環境が異なっても、活用の仕方のアイデアを共有できることはある。
例えば、<生徒の振り返りをどのように蓄積していくか>、<タブレットを活用して何をどのタイミングで見せるのか>など。
- 何をデジタルで、何をアナログで扱うのか、その見極めをしていく必要がある。
例えば、動点の問題ではどのタイミングでデジタルを活用すべきか？
グラフに関する学習でどのタイミングでデジタルを活用すべきか？

<これまでのアンケートから活用方法の分類>

○授業内容の深化・個別最適化

- ・授業後の自主的な学びを促すための練習問題の提供。
- ・生徒一人ひとりのペースに合わせた学習(キュービナ)。
- ・デジタル教科書による視覚的な教材提示やヒントの提供。

○学習状況の把握・評価

- ・計算技能の習得度をロイロノートで提出させて確認。
- ・毎時間のノートを撮影・提出させ、評価や学習記録に活用。
- ・個々の疑問の解決度をリアルタイムに把握する試み。

○教材の共有・配信

- ・オンライン受講者への資料配付や宿題配信
- ・既習内容をTeamsで共有し、いつでも見返せるようにする。
- ・復習課題などをスタディサプリで実施。
- ・スカイメニューでの教材提示や習熟時間の問題提示。
- ・補足解説動画(Goodnote5録画)をTeamsで共有。

○生徒の主体的な学び・協働学習

- ・生徒自身による解説動画の作成。
- ・オクリンクを活用した多様な意見の共有や交流。
- ・グループでの問題解決(キュービナ)。

○授業の効率化・発展

- ・デジタル教科書を活用した資料提示や答え合わせ。
- ・eライブラリを活用した終末の学習。

学習用タブレットの活用方法

自主学習・ 補充学習の支援  授業の進度に応じて、 生徒が自主的に導引明 瞭に取り纏める帯域を 整備	個別最適化と協働学習  キュービナやスタディサ プリなどを活用し、自分 のペースで学習したり、 グループ活動を進めて他 者の意見と比較・交流
提出・評価・記録  計算プリントや暗算 のノートをタブレットで 提出させ、速報での取 扱や学習記録の蓄積に 活用	授業支援・資料提示  デジタル資料書やスカ イメニューなどを用い、 教材の提示や各文含 シチュエーションによる 理解促進
復習・期題配信  既習内容や課題を Teamsやスタディサ プリで共有し、復習や 教習学習に活用	オンライン・遠隔学習対応  OneNoteで資料を配付 したり、Goodnote5での 領収書取付をTeamsで 共有し、いつでも復習可 能に

学習状況の可視化・リアルタイム把握


 リアルタイムで経路の積
累状況を把握すると、生徒
理解を即時に把握する機
会。

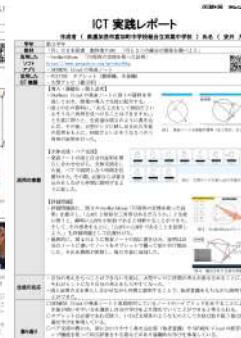
②ICT委員による実践レポートの作成&ホームページへのUP

教科書が東京書籍に変わって、タブレットの活用の仕方も変化してくる部分もあると考えられる。また、指導と評価の一体化の手立てとして、学習ログを残す取組も行なっているため、現在の活用の仕方や課題についてまとめたい。地区によって異なるタブレット環境下の中で、どのように活用しているのかをまとめることに価値があると思う。ホームページにアップして、広く情報発信を行なっていきたい。

○iPadを活用した過去の実践

ICT実践レポート 作成者 (東京都立東横田中学校) 高木 孝雄 	ICT実践レポート 作成者 (東京都立東横田中学校) 高木 孝雄 	ICT実践レポート 作成者 (東京都立東横田中学校) 高木 孝雄 	ICT実践レポート 作成者 (東京都立東横田中学校) 高木 孝雄 
---	---	--	---

○Windowsタブレットを活用した過去の実践の例

ICT実践レポート 作成者 (東京都立東横田中学校) 高木 孝雄 	ICT実践レポート 作成者 (東京都立東横田中学校) 高木 孝雄 	ICT実践レポート 作成者 (東京都立東横田中学校) 高木 孝雄 	ICT実践レポート② 作成者 (東京都立東横田中学校) 高木 孝雄 
---	---	--	--

③全国大会での発表 生成AIを活用した授業実践の可能性について

研究主題

生成AIを活用した 個別最適な学びの学習指導の工夫

～高校数学の接続を意識した授業実践を通して～

研究仮説

生成AIを学びの個別最適化の1つのツールとして効果的に活用すれば、子供たちが自己調整しながら学びを進めることができる。また、高校数学との連携を意識し系統的に指導を行えば、統合的、発展的に考える態度を養うことができる。

主題設定の理由

(1) 生成AIの活用の現状から

個別最適な学び

自らの学習状況を把握し、学びを選択・決定する方法の工夫

学びを実感する場の設定

主題設定の理由

(1) 生成AIの活用の現状から

- 効果的に感じるが、実際にどのように活用したらよいかが分からない。
- 児童生徒にどのような指導を行い使わせたらよいのかが分からない。
- 校務の効率化での活用事例は目にするが、授業内での実践例が現状あまり多くない。

【研究内容1】生成AIを活用した授業実践

第1学年「量の変化と比例・反比例」

これまでも関連しているけれど、改めて確認して授業で活用することが必要なんだね

StudyPocket

学習する時、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

また、その場面でよく活用できる知識やスキルを事前に確認しておくことが重要です。

生成AI活用授業
指導案



昨年度から生成AIを数学の授業でどのように活用できるのかを考えてきた。岐阜市長良中学校で先行導入されている教育生成AIをもとに議論してきた。東海数研での実践発表では、多くの方が興味を持っていることが分かった。今年度は、全国大会で、そこでの実践を伝えて、様々なフィードバックを得てきたい。

昨年度の時点で、次のことができるのではないかと議論された。

- ・自分の間違えた問題と似たレベルの問題を生成させて、問題練習を行う。
- ・レポートを作成した時に、レポートを写真で取り込み、論理的な部分のアドバイスをもらう。
- ・資料とデータの活用で、こちらが意図する設定の架空のデータを生成する。
- ・データを取集するアイデアをもらい、その中から生徒が選択して調査を行う。
- ・資料とデータの活用で、学級全体で分析の結果をした後に、生成AIにアドバイスをもらい、違った視点での分析で見方を広げる。

令和7年度 ICT委員会 実施計画

月		場所	概要
6月	委員会①	オンライン	顔合わせ、年間の活動の見通し 考えていきたい内容の確認
8月後半	委員会②		夏季実践交流の日の午前中を使って、全校大会の発表の報告 夏休み明けの実践の相談
10月後半	委員会③	附属小中学校	・実践交流
12月末	委員会④	附属小中学校	・実践交流
1月	委員会⑤	附属小中学校	・振り返り